

令和2（2020）年度 年報

- 企画展
 - ・ 開館記念展 じょうえつ 美術のチカラ
- 教育普及事業
- 作品収集・保管・管理事業
- 調査研究事業等
- 広報活動等

(1) 企画展の概要

展覧会名：開館記念展 じょうえつ 美術のチカラ

会 期：令和2年10月3日（土）～令和3年3月21日（日）122日間
前期…10月3日～12月21日
後期…1月5日～3月21日（※前期・後期で作品入替え）

会 場：小林古径記念美術館、小林古径邸、庭園

開 催 内 容：明治時代から令和に至る約150年間に生み出された小林古径をはじめとする上越市ゆかりの53作家の作品を前期・後期含めて145点を展示した。

第1部「小林古径 人と作品」（古径記念室）

第2部「アートでつなぐ上越の150年」（企画展示室・古径邸）

主な出品作家：【日本画】小林古径・川合清・柴田長俊・洞谷亜里佐・

川崎日香澁

【油彩画】牧野虎雄・富岡惣一郎・倉石隆・村山陽・玉井力三

【写 真】濱谷浩

【版 画】棟方志功・舟見俊二

【彫 刻】岩野勇三・滝川昆堂・峯田敏郎

【陶 芸】齋藤三郎・志賀重雄・内田邦夫

そ の 他：・毎週火曜日の午前中は「よちよちタイム」として、乳幼児を連れて入館の保護者1名は無料とした。

担当学芸員：市川高子・伊藤舞実・小川陽子

(2) 入館者の状況

区 分	有 料	無 料	合 計
一 般	5,876 人	3,061 人	8,937 人
幼・小・中・高	54 人	1,799 人	1,853 人
計	5,930 人	4,860 人	10,790 人

1日平均88.4人、有料入館率55.0%

※1月10日～18日、1月21日～27日までは大雪のため臨時休館

小林古径記念美術館 開館記念展

あなたの心に響く作品がきっとある。

じょうえつ 美術のチカラ

2020年 10月3日（土）～ 3月21日（日）
（前期）10月3日～12月21日
（後期）2021年1月5日～3月21日

【入 場 料】前 2,500円（後期）前 2,000円・後 2,000円（2021年）
 小・中学生（12歳以下）前 1,000円・後 1,000円
 幼児（3歳以下）前 500円・後 500円
 ※2021年10月3日～12月21日は、入館料が無料となります。

【観覧時間】10時～17時（10月3日～11日）・10時～16時（12月21日～31日）
 12月21日は、入館料が無料となります。
 休 日 休 館（12月22日～23日、12月25日～26日、12月28日～29日、12月31日）
 休 館 日 休 館（1月1日、1月11日、1月12日、1月13日、1月14日、1月15日、1月16日、1月17日、1月18日、1月19日、1月20日、1月21日）
 休 館 日 休 館（1月22日、1月23日、1月24日、1月25日、1月26日、1月27日、1月28日、1月29日、1月30日、1月31日）
 休 館 日 休 館（2月1日、2月2日、2月3日、2月4日、2月5日、2月6日、2月7日、2月8日、2月9日、2月10日、2月11日、2月12日、2月13日、2月14日、2月15日、2月16日、2月17日、2月18日、2月19日、2月20日、2月21日）
 休 館 日 休 館（2月22日、2月23日、2月24日、2月25日、2月26日、2月27日、2月28日、2月29日、3月1日、3月2日、3月3日、3月4日、3月5日、3月6日、3月7日、3月8日、3月9日、3月10日、3月11日、3月12日、3月13日、3月14日、3月15日、3月16日、3月17日、3月18日、3月19日、3月20日、3月21日）

【第1部】小林古径 人と作品
 小林古径の生涯と作品を展示し、その芸術的価値と人間的価値を伝える。古径の代表作を中心に、その創作活動の背景や、その後の美術界への影響についても紹介する。

【第2部】アートでつなぐ上越の150年
 明治時代から令和に至る約150年間に生み出された上越市ゆかりの作家の作品を展示し、その芸術的価値と人間的価値を伝える。古径の代表作を中心に、その創作活動の背景や、その後の美術界への影響についても紹介する。

【会期中のイベント】
 ●「アートでつなぐ上越の150年」展覧会
 ●「アートでつなぐ上越の150年」ワークショップ
 ●「アートでつなぐ上越の150年」講演会
 ●「アートでつなぐ上越の150年」パネルディスカッション
 ●「アートでつなぐ上越の150年」シンポジウム
 ●「アートでつなぐ上越の150年」トークショー
 ●「アートでつなぐ上越の150年」ライブパフォーマンス
 ●「アートでつなぐ上越の150年」ミュージカル
 ●「アートでつなぐ上越の150年」ダンス
 ●「アートでつなぐ上越の150年」映画
 ●「アートでつなぐ上越の150年」写真
 ●「アートでつなぐ上越の150年」漫画
 ●「アートでつなぐ上越の150年」ゲーム
 ●「アートでつなぐ上越の150年」おもちゃ
 ●「アートでつなぐ上越の150年」紙芝居
 ●「アートでつなぐ上越の150年」人形芝居
 ●「アートでつなぐ上越の150年」落語
 ●「アートでつなぐ上越の150年」漫才
 ●「アートでつなぐ上越の150年」相撲
 ●「アートでつなぐ上越の150年」柔道
 ●「アートでつなぐ上越の150年」剣道
 ●「アートでつなぐ上越の150年」空手
 ●「アートでつなぐ上越の150年」少林寺流
 ●「アートでつなぐ上越の150年」合気道
 ●「アートでつなぐ上越の150年」柔術
 ●「アートでつなぐ上越の150年」雑居道
 ●「アートでつなぐ上越の150年」流鏝馬
 ●「アートでつなぐ上越の150年」花火
 ●「アートでつなぐ上越の150年」お祭り
 ●「アートでつなぐ上越の150年」祭り
 ●「アートでつなぐ上越の150年」祭
 ●「アートでつなぐ上越の150年」祭

開館記念展
あなたの心に響く作品がきっとある。

じょうえつ 美術のチカラ

2020年 10月3日（土）～ 3月21日（日）

（前期）10月3日～12月21日（後期）2021年1月5日～3月21日 休 日 休 館（12月22日～23日、12月25日～26日、12月28日～29日、12月31日）
 休 館 日 休 館（1月1日、1月11日、1月12日、1月13日、1月14日、1月15日、1月16日、1月17日、1月18日、1月19日、1月20日、1月21日）
 休 館 日 休 館（1月22日、1月23日、1月24日、1月25日、1月26日、1月27日、1月28日、1月29日、1月30日、1月31日）
 休 館 日 休 館（2月1日、2月2日、2月3日、2月4日、2月5日、2月6日、2月7日、2月8日、2月9日、2月10日、2月11日、2月12日、2月13日、2月14日、2月15日、2月16日、2月17日、2月18日、2月19日、2月20日、2月21日）
 休 館 日 休 館（2月22日、2月23日、2月24日、2月25日、2月26日、2月27日、2月28日、2月29日、3月1日、3月2日、3月3日、3月4日、3月5日、3月6日、3月7日、3月8日、3月9日、3月10日、3月11日、3月12日、3月13日、3月14日、3月15日、3月16日、3月17日、3月18日、3月19日、3月20日、3月21日）

「上越市に、新たな美術館が誕生します。」

2020.10.3 START

Kubayashi Koki Memorial Museum of Art

小林古径記念美術館
Kubayashi Koki Memorial Museum of Art

〒952-8522 上越市本町1-1（古径邸併設）
TEL:025-222-8600 Fax:025-222-0123 https://www.yokoyama-art.jp/site/index.html

▲案内はがき

〈展示作品リスト〉

作品名	作家名	分類	制作年	寸法 (cm)	材質・技法	形状	備考
前期							
■第Ⅰ部 「小林古径 人と作品」 古径記念室							
少女	小林 古径	日本画	1898(明治31)頃	67.8 × 54.8	絹・着色	軸装	田中産業株式会社寄贈
里寸 (りす)	小林 古径	日本画	1936(昭和11)頃	121.0 × 36.0	絹・着色	軸装	齋藤弘氏寄贈
大仏殿	小林 古径	日本画	1943(昭和18)	48.2 × 51.3	紙・着色	軸装	植木英子氏寄贈
鳩	小林 古径	日本画	1927(昭和2)	116.0 × 41.7	絹・着色	軸装	久保田洋子氏寄贈
すすき (扇面)	小林 古径	日本画	大正時代	18.0 × 56.7	絹・金地着色	額装	山岸邦夫氏遺贈
牡丹 (絶筆)	小林 古径	日本画	1956(昭和31)頃	54.6 × 72.5	紙・着色	額装	
菊	小林 古径	日本画	大正時代	47.3 × 53.8	紙・着色	額装	山岸邦夫氏遺贈
郁子	小林 古径	習作	1942(昭和17)頃	46.3 × 60.0	紙・着色	額装	田中産業株式会社寄贈
柘榴・柿ほか	小林 古径	素描	1949(昭和24)	36.7 × 49.8	紙・着色	額装	
端溪硯	小林古径旧蔵品	資料	—	15.2 × 10.2 × 2.0			
顔料	小林古径旧蔵品	資料	—				深見實郎氏寄贈
絵皿	小林古径旧蔵品	資料	—				深見實郎氏寄贈
筆・刷毛	小林古径旧蔵品	資料	—				深見實郎氏寄贈
印章	小林古径旧蔵品	資料	—				
■第Ⅱ部 「アートでつなぐ上越の150年」 企画展示室・二ノ丸ホール							
1. 「模索の時代～明治から昭和初期」							
玉堂富貴図	樋口 雲仙	日本画	1890(明治23)	137.0 × 52.0	絹・着色	軸装	榊原家蔵 (公財)旧高田藩和親会管理
妙高山景	石塚 仙堂	日本画	1926(昭和元)	46.2 × 51.0	紙・墨	軸装	
妙高山	松林 桂月	日本画	1951(昭和26)	64.0 × 74.0	紙・墨	額装	
流鏑馬之図	楊洲 周延	日本画	1910(明治43)	167.5 × 167.0	紙・着色	屏風	上越市立歴史博物館蔵
花鳥図屏風	北條 頼浄	日本画	昭和初期	156.4 × 333.2	紙・銀地着色	六曲一隻 屏風	田中産業株式会社寄贈
あさ	齋藤 俊雄	洋画	1960(昭和35)	112.7 × 148.3	カンヴァス・油彩	額装	
小春	牧野 虎雄	洋画	1933(昭和8)	48.5 × 59.0	カンヴァス・油彩	額装	
2. 疎開文化人との交流							
色絵椿文壺	齋藤 三郎	工芸	1970(昭和45)頃	高 20.0	磁器		齋藤弘氏寄贈
色絵辛夷文花瓶	齋藤 三郎	工芸	1962(昭和37)	高 45.2	磁器		村田キク子氏寄贈
唐辛子大根図	画:齋藤 三郎 書:濱谷 浩	絵画	昭和30年代	122.5 × 34.0	紙・墨・着色	軸装	個人蔵
小田嶽夫像	岩野 勇三	彫刻	1969(昭和44)	高 25.4	ブロンズ		上越市立高田図書館蔵
小田嶽夫著 『高陽草子』		資料	1973(昭和48)			書籍	個人蔵
『文藝冊子』		資料	1960(昭和35)			冊子	個人蔵
ヴェニユス生誕別冊画譜	棟方 志功	版画	1934(昭和9)	17.5 × 13.5 18.0 × 13.5	紙・木版・着色	額装	
鳥追いの太鼓 『雪国』	濱谷 浩	写真	1940(昭和15)頃	356.0 × 279.0	紙・プリント	額装	
歌ってゆく鳥追い 『雪国』	濱谷 浩	写真	1940(昭和15)頃	279.0 × 356.0	紙・プリント	額装	
フレゴト 『雪国』	濱谷 浩	写真	1940(昭和15)頃	356.0 × 279.0	紙・プリント	額装	
タイマツのうちあい 『雪国』	濱谷 浩	写真	1940(昭和15)頃	279.0 × 356.0	紙・プリント	額装	
3. 新大芸能科が育んだ文化							
アザミ	牧田 実	洋画	1929(昭和4)	58.4 × 43.7	カンヴァス・油彩	額装	舟見儉二氏寄贈
舞のあと	三浦 顕栄	洋画	1987(昭和62)	130.7 × 97.0	カンヴァス・油彩	額装	個人蔵
藤 ボナール讃	長森 聰	洋画	1982(昭和57)頃	72.2 × 52.4	カンヴァス・油彩	額装	個人蔵
森	松垣 鶴雄	日本画	1960(昭和35)頃	45.5 × 51.2	紙・着色	額装	
白装	川合 清	日本画	1983(昭和58)	143.2 × 83.3	紙・着色	額装	川合喜美子氏寄贈
波	渡邊 利尅	彫刻	1996(平成8)	高 77.0	アルミ		(公財) 知足美術館寄贈
4. 新しい表現を求めて							
信越化学直江津工場	原本 賢治	洋画	1940(昭和15)頃	111.0 × 145.0	カンヴァス・油彩	額装	信越化学工業株式会社蔵
屋根	鳥越 憂	洋画	1965(昭和40)	79.0 × 98.3	カンヴァス・油彩	額装	鳥越憂氏寄贈
なんにもだいらの樹たち	村山 陽	洋画	1976(昭和51)	90.0 × 115.8	カンヴァス・油彩	額装	アトリエ村山陽寄贈
雲ながれゆく	柴田 長俊	日本画	1999(平成11)	162.1 × 130.3	板・着色	額装	
妙高山	富岡 惣一郎	洋画	1983(昭和58)	130.3 × 95.5	カンヴァス・油彩	額装	富岡岸枝氏寄贈
粉雪が舞う	倉石 隆	洋画	1985(昭和60)	145.5 × 97.2	カンヴァス・油彩	額装	
朝市のばあちゃん	小林 充也	日本画	2005(平成17)	116.7 × 90.9	紙・着色	額装	個人蔵
里	横尾 茂	洋画	1962(昭和37)	36.5 × 44.5	カンヴァス・油彩	額装	上越市立大島小学校蔵
ゆきざり	岩野 勇三	彫刻	1967(昭和42)	高 75.0	ブロンズ		矢橋和江氏寄贈
雲のある街	峯田 敏郎	彫刻	1994(平成6)	高 56.0	ブロンズ		峯田敏郎氏寄贈
Kという男	関谷 昌夫	洋画	2008(平成20)	194.0 × 130.3	カンヴァス・油彩	額装	個人蔵
The series of space '02LA-2	舟見 儉二	版画	2002(平成14)	100.0 × 100.0 (2点)	紙・シルクスクリーン	額装	個人蔵
花 優美／ごまかし	伊藤 将和	洋画	2020(令和2)	97.0 × 194.0	カンヴァス・油彩	額装	個人蔵
風神 雷神	大塚 いちお		2020(令和2)	83.6 × 54.9 (2点)	紙・アクリル絵の具他	額装	個人蔵
10-Bar Tensegrity -Double cherry Blossams-	堀川 紀夫		2020(令和2)	305.0 × 110.0 × 55.0	木・ゴム		個人蔵
6-Bar Tensegrity -Season Hexagon-	堀川 紀夫		2020(令和2)	224.0 × 224.0 × 174.0	木・綿ロープ		個人蔵
正方形の視界	前山 忠		2020(令和2)	600.0 × 600.0 × 40.0	白竹		

■第Ⅲ部 特集展示 ギャラリー

瞽女 杉本キクエ「越後瞽女日記」	斎藤 真一	洋画	1969(昭和44)	26.5 × 21.2	カンヴァス・油彩	額装	池田敏章氏寄贈
キクエと桜「越後瞽女日記」	斎藤 真一	洋画	1969(昭和44)	44.7 × 37.2	カンヴァス・油彩	額装	池田敏章氏寄贈
雨の日「越後瞽女日記」	斎藤 真一	洋画	1970(昭和45)	21.5 × 14.2	板・油彩	額装	池田敏章氏寄贈
赤倉瞽女「越後瞽女日記」	斎藤 真一	洋画	1970(昭和45)	44.4 × 36.5	カンヴァス・油彩	額装	池田敏章氏寄贈
杉本キクエ旅姿「越後瞽女日記」	斎藤 真一	洋画	1971(昭和46)	44.5 × 37.0	カンヴァス・油彩	額装	池田敏章氏寄贈
雪国	富岡 惣一郎	洋画	1972(昭和47)	51.8 × 44.5	カンヴァス・油彩	額装	
冬 吹雪	富岡 惣一郎	洋画	1992(平成4)	44.2 × 52.0	カンヴァス・油彩	額装	
アラスカ氷河	富岡 惣一郎	洋画	1987(昭和62)	24.2 × 33.0	カンヴァス・油彩	額装	
雪雲 奥穂高	富岡 惣一郎	洋画	1993(平成5)	15.8 × 22.7	カンヴァス・油彩	額装	
雪雲 八海山	富岡 惣一郎	洋画	1993(平成5)	15.8 × 22.7	カンヴァス・油彩	額装	
水仙文花瓶	エミール・ガレ	工芸	1904~1931	高 34.0	ガラス		有沢忠一氏寄贈
風景文花瓶	エミール・ガレ	工芸	1904~1931	高 32.5	ガラス		有沢忠一氏寄贈
ユークリ文花瓶	エミール・ガレ	工芸	1904~1931	高 35.0	ガラス		有沢忠一氏寄贈

■第Ⅳ部 工芸作品展示 小林古径邸

秋草	小林 古径	日本画	大正時代	19.0 × 14.0	紙・着色	軸装	個人蔵
敦盛	梶田 半古	日本画	1895(明治28)	36.2 × 59.0	絹・着色	軸装	諸隈裕一氏寄贈
白釉香炉	内田 邦夫	工芸	—	高 13.3	陶器		内田邦夫氏寄贈
色絵唐辛子文皿	齋藤 尚明	工芸	2017(平成29)	径 32.0 高 3.0	磁器		個人蔵
青磁葡萄文大壺	高井 進	工芸	2000(平成12)	高 34.8	磁器		高井進氏寄贈
白磁鎚文花瓶	齋藤 尚明	工芸	2001(平成13)	高 23.2	磁器		個人蔵
砂紋扁壺	志賀 重雄	工芸	1984(昭和59)	高 28.0	陶器		志賀重雄氏寄贈
染付四窓絵柘榴山絵壺	志賀 重雄	工芸	2000(平成12)	高 20.0	磁器		志賀重雄氏寄贈
練土土瓶セット	内田 邦夫	工芸	—	瓶・高 10.0/ 碗・高 6.5	陶器		内田邦夫氏寄贈
練土煙草入れ・灰皿セット	内田 邦夫	工芸	—	煙草入れ：高 12.5 灰皿：径 8.0	陶器		内田邦夫氏寄贈
青磁水差	高井 進	工芸	2002(平成14)	高 12.0	磁器		高井進氏寄贈
灰釉草文刻大壺	志賀 重雄	工芸	1974(昭和49)	高 43.0	陶器		志賀重雄氏寄贈
灰釉茶碗(木村秋雨書)	志賀 重雄	工芸	1960(昭和35)頃	高 8.2	陶器		志賀重雄氏寄贈
染付山麓絵壺	志賀 重雄	工芸	1977(昭和52)	高 17.0	磁器		志賀重雄氏寄贈
梶田半古挿絵模写	小林 古径	素描	明治末期	26.5 × 18.5	紙・墨	額装	
大理石テーブルセット	内田 邦夫	工芸	—	テーブル：高 49.3 椅子：高 36.0	陶器・大理石		内田邦夫氏寄贈

後期

■第Ⅰ部 「小林古径 人と作品」 古径記念室

寿老	小林 古径	日本画	1942(昭和17)	42.6 × 59.6	紙・墨彩	軸装	山岸邦夫氏遺贈
尾長鳥	小林 古径	日本画	昭和初期	46.5 × 65.3	紙・着色	軸装	齋藤弘氏寄贈
翡翠	小林 古径	日本画	昭和初期	40.7 × 50.4	絹・着色	軸装	齋藤弘氏寄贈
羽衣	小林 古径	日本画	1920(大正9)頃	125.6 × 41.6	絹・着色	軸装	高橋信雄氏寄贈
椿	小林 古径	日本画	昭和前期	27.2 × 24.1	絹・金地着色	額装	齋藤弘氏寄贈
丘	小林 古径	日本画	1951(昭和26)	50.6 × 69.4	紙・着色	額装	
榊原康政檄文染筆之図	秋香	日本画	1899(明治32)頃	36.7 × 85.0	絹・着色	額装	寄託作品(榊原家)
柿	小林 古径	習作	—	35.0 × 42.0	紙・着色	額装	
赤まんま	小林 古径	素描	1949(昭和24)	36.7 × 49.8	紙・鉛筆淡彩	額装	
帽子	小林古径旧蔵品	資料	—	径 29.8 × 高 9			深見實郎氏寄贈
パイプ	小林古径旧蔵品	資料	—				深見實郎氏寄贈
小林家アルバム	小林古径旧蔵品	資料	—				アルバム
小林古径 妻マス宛 はがき	小林 古径	資料	—		紙・墨・淡彩	葉書	

■第Ⅱ部 「アートでつなぐ上越の150年」 企画展示室・二ノ丸ホール

1. 「模索の時代～明治から昭和初期」

五智十二景	東洋 越陳人	日本画	1912(明治45・大正元)	131.3 × 53.0	絹・墨・淡彩	軸装	
秋景図	石塚 仙堂	日本画	1935(昭和10)	151.5 × 32.0	紙・墨・着色	軸装	
鳥	横尾 深林人	日本画	—	43.5 × 52.5	紙・着色	額装	
時代かがみ 明治	楊洲 周延	版画	1897(明治30)	39.0 × 26.5 (大判)	紙・木版・着色	額装	上越市立歴史博物館蔵
屏風	齋藤 俊雄	洋画	—	171.5 × 378.0	カンヴァス・油彩	六曲一隻	
木下画伯夫妻の図	戸田 秀男	洋画	1933(昭和8)	221.5 × 179.5	カンヴァス・油彩	額装	
庭梅花	牧野 虎雄	洋画	—	71.0 × 59.0	カンヴァス・油彩	額装	寄託作品

2. 疎開文化人との交流

白磁壺	齋藤 三郎	工芸	1970(昭和45)頃	高 19.5	磁器		齋藤弘氏寄贈
色絵八角梅樹紋花瓶	齋藤 三郎	工芸	1970(昭和45)頃	高 32.5	磁器		齋藤弘氏寄贈
ヴェニウス生誕別冊画譜	棟方 志功	版画	1934(昭和9)	17.5 × 13.5 18.0 × 13.5	紙・木版・着色	額装	
大聖不動明王	棟方 志功	日本画	—	55.7 × 35.0	紙・墨・着色	軸装	甲斐國子氏寄贈
小田巖夫像	岩野 勇三	彫刻	1969(昭和44)	高 25.4	ブロンズ		上越市立高田図書館蔵
小田巖夫著 『高陽草子』		資料	1973(昭和48)			書籍	個人蔵
『文藝冊子』		資料	1960(昭和35)			冊子	個人蔵

棟方志功 [学藝諸家]	濱谷 浩	写真	1951(昭和26)	15.5 × 23.5	紙・プリント	額装	
小田嶽夫 [学藝諸家]	濱谷 浩	写真	1947(昭和22)	23.5 × 15.5	紙・プリント	額装	
堀口大生 [学藝諸家]	濱谷 浩	写真	1947(昭和22)	15.5 × 23.5	紙・プリント	額装	
坂口謹一郎 [学藝諸家]	濱谷 浩	写真	1979(昭和54)	23.5 × 15.5	紙・プリント	額装	

3. 新大芸能科が育んだ文化

アザミ	牧田 実	洋画	1929(昭和4)	58.4 × 43.7	カンヴァス・油彩	額装	舟見俊二氏寄贈
舞のあと	三浦 顕栄	洋画	1987(昭和62)	130.7 × 97.0	カンヴァス・油彩	額装	個人蔵
藤 ボナール讀	長森 聰	洋画	1982(昭和57)頃	72.2 × 52.4	カンヴァス・油彩	額装	個人蔵
森	松垣 鶴雄	日本画	1960(昭和35)頃	45.5 × 51.2	紙・着色	額装	
麗	川合 清	日本画	1983(昭和58)	128.5 × 79.0	紙・着色	額装	川合喜美子氏寄贈
けんか	渡邊 利尅	彫刻	1988(昭和63)	高 34.0	アルミ		(公財) 知足美術館寄贈

4. 新しい表現を求めて

月の光	倉石 隆	洋画	1950(昭和25)	115.0 × 90.0	カンヴァス・油彩	額装	倉石翠氏寄贈
老いた瞽女	仲田 大二	洋画	1986(昭和61)	160.0 × 110.5	カンヴァス・油彩	額装	仲田忠洋・仲田豊洋氏寄贈
新雪の漁師小屋	大口 満	洋画	1976(昭和51)	194.0 × 162.0	カンヴァス・油彩	額装	個人蔵
春を待つ	玉井 力三	洋画	—	128.5 × 96.0	カンヴァス・油彩	額装	上越市柿崎区蔵
現代世相考 [不確かな時]	筑波 進	洋画	2009(平成21)	162.0 × 162.0	カンヴァス・油彩	額装	個人蔵
黙過	福岡 奉彦	洋画	2016(平成28)	194.0 × 259.0	カンヴァス・油彩	額装	福岡奉彦氏寄贈
妙高山	五十嵐 正	洋画	2010(平成22)	116.0 × 90.0	カンヴァス・油彩	額装	個人蔵
またあした	洞谷 亜里佐	日本画	2010(平成22)	72.0 × 140.0	紙・着色	額装	個人蔵
奴奈川姫と建御名方命	川崎 日香渥	日本画	2009(平成21)	148.0 × 132.0	絹・着色	額装	個人蔵
杉本キクイ像	滝川 毘堂	彫刻	1978(昭和53)	高 37.0	ブロンズ		滝川清子氏寄贈
Frammento Caduto dal Cielo	松尾 大介	彫刻	2014(平成26)	56.0 × 35.0 × 45.0	ブロンズ、木		個人蔵
迷界…Red2	古田 洋司	洋画	—	84.0 × 84.0	カンヴァス・アル ミ・アクリル	額装	個人蔵
2019 習作 4	関谷 昌夫	洋画	2019(平成31・令和元)	径 60.0	ミクストメディア		個人蔵
6-Bar Tensegrity -Season Hexagon-	堀川 紀夫		2020(令和2)	224.0 × 224.0 × 174.0	木・綿ロープ		個人蔵
正方形の視界	前山 忠		2020(令和2)	600.0 × 600.0 × 40.0	白竹		

■ 第Ⅲ部 特集展示 ギャラリー

街	富岡 惣一郎	洋画	1958(昭和33)	44.5 × 32.8	カンヴァス・油彩	額装	
妙高山	富岡 惣一郎	洋画	1976(昭和51)	44.0 × 36.5	カンヴァス・油彩	額装	
雪 信濃川源流	富岡 惣一郎	洋画	1976(昭和51)	45.5 × 38.0	カンヴァス・油彩	額装	
冬 野沢高原	富岡 惣一郎	洋画	1976(昭和51)	31.8 × 41.0	カンヴァス・油彩	額装	
北海道 ニセコ・アンヌプリ	富岡 惣一郎	洋画	1975(昭和50)	64.2 × 52.0	カンヴァス・油彩	額装	
三人の瞽女 冬の旅支度 「越後瞽女日記」	斎藤 真一	洋画	1980(昭和55)	44.5 × 37.0	カンヴァス・油彩	額装	池田敏章氏寄贈
三人瞽女「越後瞽女日記」	斎藤 真一	洋画	1972(昭和47)	23.0 × 32.0	カンヴァス・油彩	額装	池田敏章氏寄贈
瞽女唄「越後瞽女日記」	斎藤 真一	洋画	1972(昭和47)	34.0 × 34.0	カンヴァス・油彩	額装	池田敏章氏寄贈
海辺の氏神様「お春瞽女物語り」	斎藤 真一	洋画	1976(昭和51)	23.0 × 32.1	板・油彩	額装	池田敏章氏寄贈
花野の道「越後瞽女日記」	斎藤 真一	洋画	1979(昭和54)	23.0 × 32.5	板・油彩	額装	池田敏章氏寄贈
自画像 北鳥山にて	斎藤 真一	洋画	1978(昭和53)	32.5 × 23.4	板・油彩	額装	池田敏章氏寄贈
エリンジウム文花瓶	エミール・ガレ	工芸	1904~1931	高 36.3	ガラス		有沢忠一氏寄贈
ヘメロカリス文花瓶	エミール・ガレ	工芸	1904~1931	高 24.2	ガラス		有沢忠一氏寄贈
オリーブ文花瓶	エミール・ガレ	工芸	1904~1931	高 21.0	ガラス		有沢忠一氏寄贈

■ 第Ⅳ部 工芸作品展示 小林古径邸

水仙	小林 古径	日本画	—	42.5 × 54.0	紙・木版画	軸装	個人蔵
清少納言	梶田 半古	日本画	明治末~大正初期	125.0 × 50.0	絹・着色	軸装	諸隈裕一氏寄贈
色絵椿更紗文飾壺	齋藤 尚明	工芸	2019(令和元)	高 21.8	磁器		個人蔵
瑠璃釉捻花彫文大鉢	齋藤 尚明	工芸	1985(昭和60)頃	高 8.8	磁器		個人蔵
青瓷釉面取壺	志賀 重雄	工芸	1997(平成9)	高 23.7	磁器		志賀重雄氏寄贈
白釉土瓶セット	内田 邦夫	工芸	—	瓶：高 11.1 碗：高 5.3	陶器		内田邦夫氏寄贈
淡トルコ釉灰皿	内田 邦夫	工芸	—	径 18.5	陶器		内田邦夫氏寄贈
白釉香炉	内田 邦夫	工芸	—	高 13.3	陶器		内田邦夫氏寄贈
青磁葡萄文大壺	高井 進	工芸	2000(平成12)	高 34.8	磁器		高井進氏寄贈
青磁平水差	高井 進	工芸	2002(平成14)	高 12.0	磁器		高井進氏寄贈
灰釉草文刻大壺	志賀 重雄	工芸	1974(昭和49)	高 43.0	陶器		志賀重雄氏寄贈
黄土釉扁壺	志賀 重雄	工芸	1975(昭和50)	高 18.5	陶器		志賀重雄氏寄贈
青磁平茶碗	高井 進	工芸	2002(平成14)	高 5.5	磁器		高井進氏寄贈
猫と遊ぶ童女	小林 古径	素描	明治末期	26.5 × 18.5	紙・墨	額装	
大理石テーブルセット	内田 邦夫	工芸	—	テーブル：高 49.3 椅子：高 36.0	陶器・大理石		内田邦夫氏寄贈

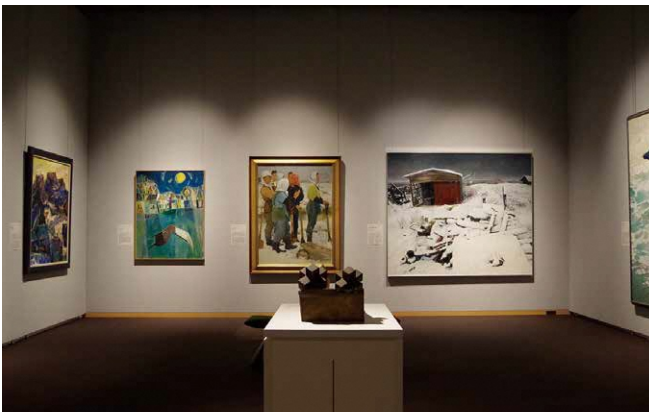
【会期中のイベント】

イベント名	実施日	参加者数	内容
映像で楽しむ作家トーク	【前期展】 10月11日・25日、11月8日・ 22日、12月3日 【後期展】 2月14日・28日、3月14日 10:00～10:30	【前期】 43人 【後期】 24人	前期・後期各5名の作家から自身のプロフィールや作品のコンセプト等のインタビュー動画を放映した。 【前期展】 伊藤将和・小林充也・関谷昌夫・堀川紀夫・前山忠 【後期展】 大口満・川崎日香湮・洞谷亜里佐・筑波進・松尾大介
学芸員による ギャラリートーク	【前期展】 10月11日・25日、11月8日・ 22日、12月3日 【後期展】 2月14日、3月14日 13:30～14:30	【前期】 63人 【後期】 22人	学芸員が展示作品や作家等について解説を行った。 主な内容 ・古径について、作品の特徴、資料の説明など ・今回の展示概要、各時代の作品概要、特徴的な作品の解説など
デッサンに挑戦！	11月14日（土） 【午前】9:30～11:30 【午後】13:30～15:30	25人	古径の素描作品を鑑賞した後、旬の果物などのモチーフを観察し、デッサンのコツを学んで実際に描いた。 講師：上越教育大学・伊藤将和准教授 (開館記念展前期展出品作家)
日本画絵具に親しむ	1月31日（日） 10:00～12:00 ※当初1月16日の開催予定 を大雪のため延期	10人	鉱物を砕いて日本画の絵具を作り、色紙の大きさの作品を制作した。 講師：日本画家・川崎日香湮氏 (開館記念展後期展出品作家)
庭園ライトアップ (観光交流推進課にて実施)	①10月3日（土）～10月 31日（土）の金・土曜日 ②11月1日（日）～10日（火） の休館日を除く毎日 ③11月13日（金）、14日（土）、 20日（金）、21日（土）、 22日（日） 合計22日間	381人	・美術館庭園内をライトアップし、美術館の持つ魅力をアピールした。(点灯時間16:30～20:00) ・ライトアップにあわせ、小林古径邸及び画室を会場とした市内事業者による食事企画を実施した ①上越観光コンベンション協会「マイクロツアーズ 小さな旅」 ②クオールス(株)「古径邸庭園ライトアップディナー」
美術館キャンドルナイト	2月11日（木・祝） 16:00～19:00	845人	庭園内に雪灯籠をつくり、明かりをともして冬の美術館の魅力をアピールした。また、画室で雪にちなんだ和菓子と抹茶を販売した。(限定70セット) ※イベント当日は小林古径の生誕日を記念し、当日の入館料を無料。
どうようワークショップ	毎週土曜日 10:00～12:00	延べ 143人	来館者が気軽に体験できる月替わりのミニワークショップを実施した。 10月…金地に絵をかこう 11月…挑戦！テンセグリティ 12月…キラキラ☆年賀状 1月…おめでたい水墨画をかこう 2月…塗って削って！雪の風景をかこう 3月…梅の香りの文香づくり

「じょうえつ 美術のチカラ」展示風景
前期



後期



(1) 美術館主催・共催イベント・サービス

イベント名	開催日	会場	参加者数	内容
どようワークショップ	会期中の土曜日 10:00～12:00 (全18回)	二ノ丸 ホール	200人	子どもから大人まで、誰でも気軽に楽しめるワークショップを土曜日午前に開催。展示作品や季節に合わせて内容を変え、作品や美術館に親しみを感ずってもらう契機とした。
よちよちタイム	開館中の火曜日 9:00～12:00 (12月～3月:10:00～12:00) (全19回)	美術館内	47人	小さな子どもを連れた保護者が周りを気にせず美術館で作品鑑賞をしてもらうことを目的に実施。火曜日の午前中を「よちよちタイム」とし、保護者1名の入館を無料とした。ホール内に自由に遊べるおもちゃや絵本を用意した。
子どものための美術館ガイド 「きつず☆アートチャレンジ」	・学校教育研究会(美術、社会) 教職員に配布(109部) ・来館した小学生に配布	美術館内	964人	小林古径のこと、美術館に展示している作品のこと、日本画の絵の具に関する問題を解き、美術館に親しみを感ずってもらうための子ども向けの取り組み。
スマートフォン向けアプリ 「ポケット学芸員」	—	—	—	展示作品画像や解説を、どこでも自分のスマホから楽しむことができるアプリ。

○上越教育大学との連携事業

「ヨリ・ミチ図工室」

平日の放課後に子どもが主体的に造形活動をする場所、材料、道具、きっかけを提供することを目的として、平成29年に開始。今年で4年目の実施となった。

人数：A組：16名、B組：12名（附属小学校・大町小学校・大手町小学校・稲田小学校）

場所：二ノ丸ホール

主催：上越教育大学大学院（芸術・体育教育学系（美術）五十嵐史帆研究室）

小林古径記念美術館

テーマ	日時	参加者数	活動内容
名札づくり	10月14日(水) 10月21日(水)	A組：16人 B組：12人	・マスキングテープを貼った紙に色鉛筆で色を塗る ・テープをはがし、名前ハンコを押して缶バッジとカードをつくる
ポポポボ蒸気船	10月28日(水) 11月11日(水)	A組：16人 B組：12人	・ボンボン船を作り、ビニールプールに浮かべて遊ぶ
がんぎをかざろう	11月18日(水) 11月25日(水)	A組：16人 B組：11人	・美術館長廊をスズランテープやカラービニール袋で装飾する
日本画にちようせん！	12月2日(水) 12月9日(水)	A組：16人 B組：12人	・日本画キットの中身を見ながら解説を聞く ・絵はがきに岩絵の具を使って絵をかく ・展示室に行き、作品を鑑賞する

(2) 出張授業

団体・学校名	期日	参加者数	内容
城北中学校1年生	10月6日(火) 10月9日(金) 10月13日(火) 10月26日(月) 10月28日(水)	135人	・Google Meetを用い、遠隔で見学・作品鑑賞を行う ・好きな作品を選び、音声ガイドをつくる
八千浦中学校1年生	11月13日(金)	25人	・複製画《百舌鳥》の鑑賞 ・骨描きで、古径の線描を真似する
吉川高等特別支援学校1年生	1月22日(金)	16人	・小林古径・美術館について紹介 ・複製画《蓮》を鑑賞(対話型鑑賞)
上越教育大学附属中学校1年生	6月24日(水)	108人	・美術館見学(1月27日) ・日本画キットの中から、膠、鉱石、岩絵の具を紹介しながら、日本画の画材や技法について学ぶ ・墨を使い古径の描いた線を真似して描く

(3) 画材貸出

◆教材キット内容

小林古径が使用したものに近い筆、絵具を揃えた。使用キットは人数に応じて用意する。

キット種類	内 容
見本キット（木箱入り）	岩絵具原石7種、筆原材料5種、紙原材料4種、岩絵具6種、墨、硯、金泥、金箔、銀箔、膠、筆、和紙、絹、ルーペ
使用キット	岩絵具セット2箱、水干絵具セット2箱、胡粉、顔彩セット2箱、墨、硯、筆、金箔、銀箔、箔切、箔はさみ、箔切台、砂子筒4本、砂子巻棒、絵皿、乳鉢・棒、筆洗い、膠鍋、匙、電熱器、膠、新鳥の子紙
日本画制作過程見本	写生から小下図、下図写しを経て骨描き、彩色、仕上げに至るまでの過程（8工程）を見本（F6サイズボード）で示す。
原寸大デジタル複製画	小林古径の複製画を貸与する。貸与点数は一度に約5点までとする。

貸し出し状況

団体・学校名	期 日	参加者数	内 容
洞谷重里佐氏（上越教育大学教授）	10月9日（金）～10月15日（木）	10人	・日本画キットの貸し出し（日本画の授業）
洞谷重里佐氏（上越教育大学教授）	11月14日（土）～11月18日（水）	10人	・日本画キットの貸し出し（日本画の授業）

(4) 団体見学

期 日	人数	団体・学校名
10月6日（火）	21人	高田高校1年生（延べ78人）
10月7日（水）	19人	
10月8日（木）	11人	
10月16日（金）	27人	
10月9日（金）	31人	高田幼稚園3・4・5歳児
10月12日（月）	35人	上越教育大学附属小学校6年生
10月13日（火）	27人	中郷中学校2年生
10月14日（水）	230人	北城高校3年生
11月12日（木）	34人	大和小学校1年生
11月17日（火）	24人	明照幼稚園4・5歳児
3月17日（水）	13人	
11月6日（金）	10人	大潟中学校1年生
11月25日（水）	32人	上越総合技術高校（延べ104人）
12月4日（金）	32人	
12月4日（金）	15人	
12月11日（金）	25人	
12月10日（木）	10人	古城小学校5・6年生
12月11日（金）	6人	吉川高等特別支援学校
1月22日（金）	68人	新井小学校6年生
1月27日（木）	108人	上越教育大学附属中学校1年生
1月29日（土）	8人	美守小学校3年生
2月26日（土）	63人	飯小学校6年生
3月10日（水）	35人	春日中学校2年生

(5) 博物館実習（上越市立歴史博物館との共同事業）

美術館開館準備に伴い実施せず

(6) 職場体験学習（上越市立歴史博物館との共同事業）

美術館開館準備に伴い実施せず

(1) 作品・資料の収集

①購入作品：該当なし

②寄贈作品

No.	分類	作家名	作品名	制作年	材質・技法	員数
1	日本画	小林 古径	果実	1951年	紙・墨	1幅
2	日本画	小林 古径	翠色	1917年	紙・着色	1幅
3	日本画	小林 古径	朝顔	1928年	絹・着色	1幅
4	日本画	小林 古径	尾長鳥	1946年	紙・着色	1幅
5	工芸	高井 進	青磁葡萄文大壺	2000年頃	磁器	1口
6	工芸	高井 進	青磁平水差	2002年頃	磁器	1口
7	工芸	高井 進	青磁平茶碗	2002年頃	磁器	1口
8	工芸	高井 進	耀変天目茶碗	2015年頃	磁器	1口
9	油彩画	三浦 顯榮	妙高山	—	カンヴァス・油彩	1面
10	油彩画	村山 陽	巢立つ	1960年	カンヴァス・油彩	1面
11	油彩画	仲田 大二	瞽女	—	カンヴァス・油彩	1面
12	油彩画	仲田 大二	はなれ瞽女（習作）	—	紙・水彩	1面
13	書	相馬 御風・竹内 臨川	良寛と貞心尼	—	紙・墨・淡彩	1幅
14	油彩画	牧野 虎雄	けし麦	昭和初期	カンヴァス・油彩	1面
15	油彩画	牧野 虎雄	築山芥子	1940年	カンヴァス・油彩	1面
16	油彩画	牧野 虎雄	立葵	昭和初期	カンヴァス・油彩	1面
17	油彩画	牧野 虎雄	風景	昭和初期	カンヴァス・油彩	1面
18	油彩画	牧野 虎雄	花	1938年	カンヴァス・油彩	1面
19	日本画	牧野 虎雄	向日葵と芥子	1935年	絹・墨・着色	1幅
20	油彩画	長森 聰	羽根飾りの仮面のある静物	1994年	カンヴァス・油彩	1面
21	油彩画	長森 聰	山歸来とコロキヤント	1990年	カンヴァス・油彩	1面
22	油彩画	長森 聰	Cirque Gruss	—	カンヴァス・油彩	1面
23	油彩画	長森 聰	霧と仮面のある静物	1991年	カンヴァス・油彩	1面
24	油彩画	長森 聰	秋のあじさいと鹿の頭の酒瓶	1990年頃	カンヴァス・油彩	1面
25	油彩画	鳥越 愛	杏の里	1975年頃	カンヴァス・油彩	1面
26	日本画	梶田 半古	比礼布留山	明治時代末期	絹・着色	1幅
27	日本画	梶田 半古	おくに歌舞伎 (本画下図双幅)	明治時代末期	本画：絹・着色 下図：紙・墨	2幅
28	日本画	梶田 半古	婦子遊戯図（二曲一隻屏風）	明治時代末期	絹・着色	1隻
29	日本画	梶田 半古	ひな	—	絹・着色	1面
30	日本画	梶田 半古	鉄拐仙人・蝦蟇仙人	明治時代末期	絹・着色	2幅
31	日本画	梶田 半古	菊慈童	明治時代末期	絹・着色	1幅
32	日本画	梶田 半古	鷹狩図	1907年頃	絹・着色	1幅
33	彫刻	岩野 勇三	待合室	1968年	ブロンズ・鑄造	1点
34	工芸	木村 隆	引出窯茶碗	—	陶器	1口
35	工芸	木村 隆	碧釉切絵壺	—	陶器	1口

③所管替え作品（直江津図書館から）

No.	分類	作家名	作品名	制作年	材質	員数
1	日本画	片岡 球子	水仙	—	絹・着色	1幅

以上 36件

(内訳) 日本画 12件、洋画 16件、工芸 6件、彫刻 1件、書 1件

(2) 展示・保存環境調査

美術館内の展示保存環境が美術作品の展示に対して適正であるかを確認するため、下記のとおり気中濃度測定を実施した。

測定項目：アンモニア、ギ酸、酢酸、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド

測定箇所：古径記念室・古径記念室展示ケース、企画展示室、企画展示室展示ケース、一時保管庫内

期 日：8月7日（火）

実施機関：一般財団法人上越環境科学センター

〈参考〉増改築工事竣工前の気中濃度測定記録

期 日：令和2年1月16日（木）、令和2年2月14日（金）

測定項目：アンモニア、ギ酸、酢酸、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド

測定箇所：古径記念室・古径記念室展示ケース、企画展示室、企画展示室展示ケース、一時保管庫内

実施機関：一般財団法人上越環境科学センター

(3) 作品・資料の貸与

展覧会名等	作家名	貸出作品	貸出期間
○上越市立歴史博物館			
「常設展 第一期」 会期：3月31日(火)～6月28日(火)	斎藤 真一	《花野の道『越後替女日記』》 《赤倉替女『越後替女日記』》 《西頸城 能生の駅・待合い室にて『越後替女日記』》	3月30日(月)～6月29日(水)
「常設展 第二期」 会期：6月30日(木)～9月27日(日)	斎藤 真一	《鶯口の雷『越後替女日記』》 《佐久の旦那『越後替女日記』》 《替女唄『越後替女日記』》	6月29日(水)～9月28日(月)
「常設展 第三期」 会期：9月29日(火)～12月20日(日)	斎藤 真一	《明星 二本木の雪『越後替女日記』》 《三人替女 冬の旅支度『越後替女日記』》 《待合所にて「替女」『越後替女日記』》 《赤いとんぼ玉簪『越後替女日記』》	9月28日(月)～12月21日(月)
「常設展 第四期」 会期：12月22日(火)～3月28日(日)	斎藤 真一	《雪の唄『越後替女日記』》 《西頸城の替女『越後替女日記』》 《お春の祈り『お春替女物語』》 《太郎の曲『お春替女物語』》	12月21日(月)～3月29日(月)
○特定非営利法人 高田替女の文化を保存・発信する会（会場：替女ミュージアム高田）			
「春の企画展」 会期：4月4日(土)～5月6日(水)	斎藤 真一	《街角》、《秋田おぼこ》、《白壁の風景》、《曇り日（岡山風景）》、 《ナポリの夏》、《下田》、《伊豆 落居》	4月3日(金)～5月7日(木)
「夏の企画展」 会期：8月1日(土)～8月23日(日)	斎藤 真一	《赤いとんぼ玉簪 母の形見》 《杉本替女 しま》 《みさお替女の祈り》	7月31日(金)～8月24日(月)
「秋の企画展」 会期：10月3日(土)～10月12日(月)	斎藤 真一	《おたか替女 坂城で遊女になる》 《かとうの死『越後替女日記』》 《おつねの死『越後替女日記』》 《門付け『越後替女日記』》 《風船の歌『越後替女日記』》	10月1日(木)～10月12日(月)
「冬の企画展」 会期：1月8日(金)～3月28日(日)	仲田 大二	《替女二人》	12月15日(火)～3月29日(月)
○文化振興課(会場：ミュゼ雪小町)			
「高田替女展」 会期：8月8日(土)～9月6日(日)	仲田 大二	《最後の替女》、《離れ替女》、《替女と花》、《替女座像》、 《高田替女（習作）》、《替女宿の集い》、《替女旅立》	8月7日(金)～9月9日(水)
	滝川 毘堂	《杉本キクイ首像》、《替女の雪道（習作）》	

(1) 講演会講師

団体名	日時	内容	講師
上越美術協会講演（ミュゼ雪小町）	3月27日(土) 13:00～	「新しい古徑美術館と上越美術協会」	宮崎俊英

(2) 依頼原稿執筆

団体名・書籍名等	発行日	内容
『博物館研究 Vol.55 No.12 通算 631号 (発行：公益財団法人日本博物館協会)』	令和2年12月発行	「小林古徑記念美術館 新たに開館」執筆：伊藤舞実
『新潟県博物館協議会 研究紀要』第8号 (発行：新潟県博物館協会)』	令和2年3月発行	「大学と関連した教育普及活動の報告」執筆：伊藤舞実

(3) 展覧会図録作成

作成なし

(4) 展覧会調査及び作家作品調査

内容	調査日	担当	場所
舟見俊二作品調査	4月19日(火)	市川高子	作家宅(市内)
前山忠作品調査	6月2日(火)	市川高子	作家宅(市内)
洞谷重里佐作品調査	6月3日(水)	市川高子	上越教育大学
舟見俊二作品調査	6月5日(金)	市川高子・伊藤舞実・小川陽子	作家宅(市内)
古田洋司作品調査	6月11日(木)	宮崎俊英	所蔵者宅(市内)
富岡惣一郎壁画作品調査	6月12日(金)	宮崎俊英・伊藤舞実・小川陽子	上越市役所
堀川紀夫作品調査	6月18日(木)	市川高子	作家宅(市内)
五十嵐正作品調査	6月23日(火)	市川高子・伊藤舞実	作家宅(市内)
原本賢治作品調査	6月25日(木)	笹川修一・市川高子	信越化学工業
舟見俊二作品調査	6月26日(金)	市川高子・伊藤舞実・小川陽子	作家宅(市内)
五十嵐正作品調査	6月30日(火)	市川高子	作家宅(市内)
高井進作品調査	7月21日(火)	宮崎俊英・市川高子	作家宅(市内)
齋藤尚明作品調査	7月28日(火)	宮崎俊英・市川高子	作家宅(市内)
小林允也作家調査	8月17日(月)	市川高子・小川陽子	作家宅(市内)
関谷昌夫作家調査	8月22日(土)	市川高子・小川陽子	作家宅(市内)
堀川紀夫作家調査	9月14日(月)	市川高子	作家宅(市内)
伊藤将和作家調査	9月15日(火)	市川高子・小川陽子	上越教育大学
前山忠作家調査	9月23日(水)	市川高子	作家宅(市内)
大口満作家調査	10月19日(月)	市川高子	作家宅(妙高市)
川崎日香運作家調査	10月21日(水)	市川高子・小川陽子	作家宅(市内)
筑波進作家調査	10月21日(水)	市川高子・小川陽子	作家宅(市内)
永青文庫展調査	11月4日(水)	笹川修一	公益財団法人永青文庫(東京)
岩野勇三展調査	11月5日(木)	笹川修一・市川高子	作家宅(東京)
洞谷重里佐作家調査	11月9日(月)	市川高子	上越教育大学
松尾大介作家調査	11月10日(火)	市川高子	上越教育大学
小林古徑作品調査	12月3日(木)	笹川修一	ギャラリー一祥(市内)
岩野勇三作品調査	12月10日(木)	笹川修一・市川高子	所蔵先(市内)
作品調査	1月22日(金)	宮崎俊英・笹川修一	所蔵先(妙高市)
柴田長俊ステンドグラス作品調査	1月29日(金)	宮崎俊英・笹川修一	所蔵先(市内)
堀川紀夫作品調査	2月9日(火)	市川高子	所蔵先(市内)
院展作家作品調査	2月10日(水)	笹川修一・小川陽子	所蔵先(市内)
岩野勇三作品調査	3月4日(木)	市川高子	所蔵先(市内)
岩野勇三作品調査	3月5日(金)	市川高子	所蔵先(市内)
玉井力三作品調査	3月28日(日)	宮崎俊英	上越市立春日新田小学校

(5) 研究会・研修等

研修名	日時	担当	会場
文化財防災セミナー「共に助け合う地域・ミュージアム」 (主催：東京国立博物館、九州国立博物館、文化財防災センター)	12月11日(金) 13:30～16:00	笹川修一	オンライン参加
第35回全国美術館会議学芸員研修会 「アフターコロナに向けて～美術館運営支援を考える」	3月5日(金) 13:30～17:30	宮崎俊英・笹川修一	オンライン参加

広報活動等

(1)上越市有線放送協会「小林古径記念美術館を訪ねて」

内 容	放送日	担当
今年度放送内容の概要、美術館の概要	4月24日(金)	笹川修一
古径ってこんな人	5月22日(金)	市川高子
上越市ゆかりの作家	6月26日(金)	市川高子
小林古径記念美術館の概要(料金等)	7月24日(金)	笹川修一
魅力再発見! 古径邸たても探訪	8月28日(金)	小川陽子
いよいよオープン! 小林古径記念美術館(館内巡り、イベント紹介等)	9月25日(金)	笹川修一
「じょうえつ美術のチカラ」展示作品から①	10月23日(金)	伊藤舞実
「じょうえつ美術のチカラ」展示作品から②	11月27日(金)	小川陽子
「じょうえつ美術のチカラ」展示作品から③	12月25日(金)	伊藤舞実
キャンドルナイトのご案内(2/11)	1月29日(金)	小川陽子
「じょうえつ美術のチカラ」展示作品から④	2月26日(金)	市川高子
令和3年度の展覧会案内	3月26日(金)	伊藤舞実

(2)FMじょうえつほか

内 容	放送日	担 当
上越市有線放送協会「市政の窓」 「小林古径記念美術館の開館について」	9月23日(水)	笹川修一
FMみょうこう 「小林古径記念美術館の開館について」	10月9日(金)	笹川修一
広報Jステーション(電話出演) 「じょうえつ美術のチカラ 作品紹介」	10月14日(水)	市川高子
広報Jステーション(電話出演) 「じょうえつ美術のチカラ 作品紹介」	1月5日(火)	市川高子
FM新潟 ヤンの気ままにドライブ出演 「小林古径記念美術館の紹介」	1月5日(火)	伊藤舞実
上越市有線放送協会「市政の窓」(電話出演) 「古径と院展の作家たち」	3月19日(金)	小川陽子

(3)美術館ホームページアクセス数とSNS(Facebook)投稿数とフォロワー数

	美術館ホームページ ページビュー数	SNS(Facebook)	
		投稿件数	投稿で一番反応のあった投稿(閲覧数)
4月	1,217回	—	—
5月	1,710回	—	—
6月	2,145回	—	—
7月	1,778回	—	—
8月	2,583回	4件	オープンまであと40日!(809)
9月	6,401回	2件	よちよちタイム紹介(368)
10月	13,036回	8件	小林古径記念美術館がいよいよ開館(813)
11月	6,713回	8件	週末のイベント案内(374)
12月	3,721回	3件	じょうえつ美術のチカラ前期展示は明日まで(277)
1月	3,209回	8件	施設の除雪作業を進めています(299)
2月	4,714回	6件	キャンドルナイトを開催しました(246)
3月	4,396回	2件	じょうえつ美術のチカラは3月21日までです(253)

(4)特集記事

内 容	掲載誌名	備考
障子の美特集 小林古径邸	『和風住宅』(25)	2020年8月発行
小林古径記念美術館の開館について	新潟日報 上越 Assh	2020年9月23日掲載
上越、芸術のまちへ。 小林古径記念美術館開館	新潟日報朝刊全面広告掲載	2020年9月29日
らじ太隊長探検記 小林古径記念美術館を調査せよ!	『らじたん』2020.9~11 (エフエム上越)	2020年9月発行
小林古径記念美術館 小林古径邸復元事業	『新建築』(95巻17号)	2020年12月号
藤森照信の「日本のモダン建築」 20世紀の名作住宅 File.022 小林古径邸/吉田五十八	『モダンリビング』(No.255 通巻362号)	2021年3月号

(5)その他

内 容	掲載場所	備考
小林古径記念美術館の紹介	市内バス、タクシーのラッピング	上越市交通政策課

